

KAYABA RALLY TEAM



JAF全日本ラリー選手権 参戦レポート#2

2025年 JAF全日本ラリー選手権 第2戦

ツール・ド・九州2025 in 唐津

2025/4/11(金)~13(日)
佐賀県唐津市



天候と路面を読み切れ

クラス7位/総合11位



KAYABA RALLY TEAM



大会概要

日程: 2025/4/11(金)~13(日)
 場所: 佐賀県唐津市
 主催: グラベルモータースポーツクラブ
 SS数: 12
 路面: ターマック
 総走行距離: 324.87 km
 SS距離: 105.32 km



スペシャルステージ設定

【LEG1】 4/12(土)

天候: 晴れのち雨 / 路面: ドライ

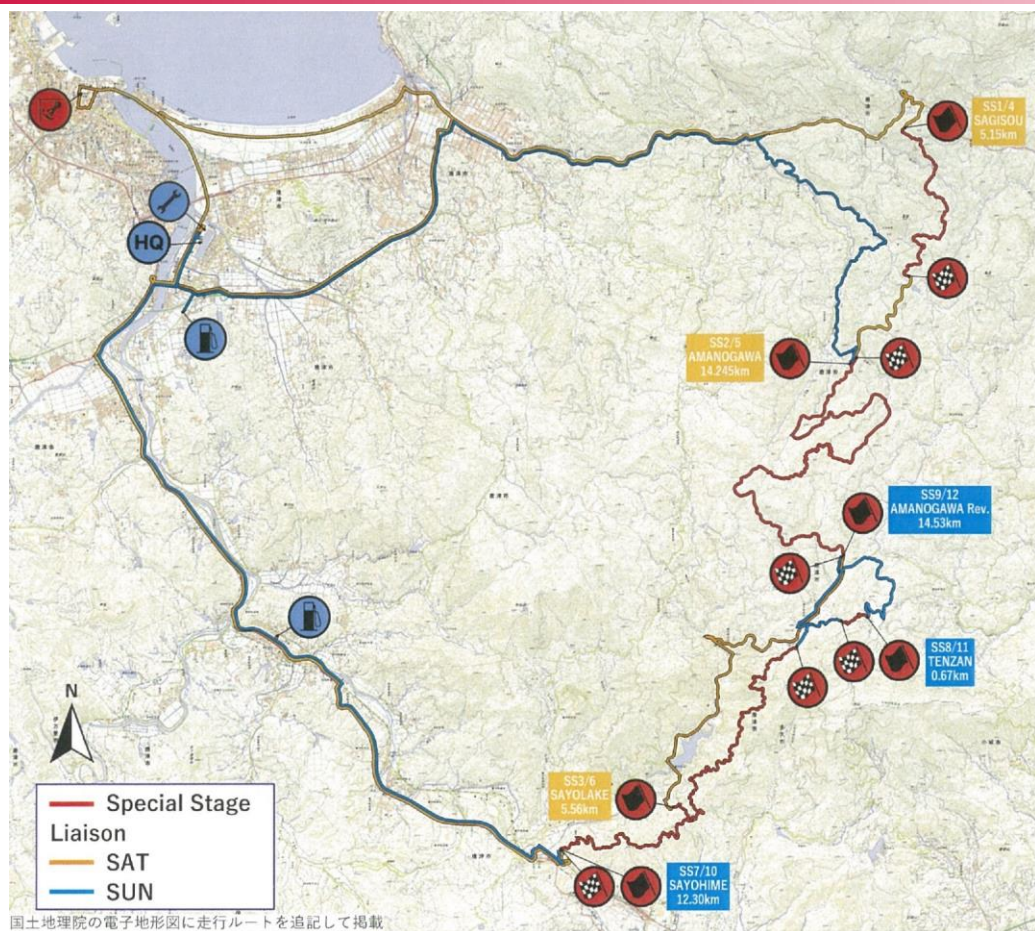
	スタート		9:00
SS1	SAGISOU 1	5.15 km	10:00
SS2	AMANOGAWA 1	14.45 km	10:20
SS3	SAYOLAKE 1	5.56 km	11:00
	サービスA (30分)		12:00
SS4	SAGISOU 2	5.15 km	13:35
SS5	AMANOGAWA 2	14.45 km	13:55
SS6	SAYOLAKE 2	5.56 km	14:35
	サービスB (45分)		15:35
	パルクフェルメ		16:35

【LEG2】 4/13(日)

天候: 雨のち晴れ / 路面: ウェット→ドライ

	サービスC (15分)		7:00
SS7	SAYOHIME 1	12.30 km	8:03
SS8	TENZAN 1	0.67 km	8:36
SS9	AMANOGAWA Reverse 1	14.53 km	9:54
	サービスD (30分)		10:09
SS10	SAYOHIME 2	12.30 km	11:42
SS11	TENZAN 2	0.67 km	12:15
SS12	AMANOGAWA Reverse 2	14.53 km	12:33
	サービスE (10分)		13:38
	フィニッシュ		13:48

全体図



チーム体制



チーム : KAYABA Rally Team
 監督 : 梶本 一憲
 チームアドバイザー : 奴田原文雄
 チーフメカニック : 山田 淳一(RUTS RACING)
 リーダー/エンジニア : 松下 雄介
 ドライバー : 石黒 一暢
 コ・ドライバー : 穴井 謙志郎
 メカニック : 長江 将典、増谷 大志
 松田 幸也、三國 大河

リザルト (JN-1クラス7位 / 総合11位)

クラス	No.	Dr.	Co-Dr.	参加車両名	車両型式	車両区分	LEG 1							LEG 2							総合計	クラス順位	総合順位		
							SS1	SS2	SS3	SS4	SS5	SS6	Penalty	合計	SS7	SS8	SS9	SS10	SS11	SS12				Penalty	合計
JN-1	2	勝田 範彦	保井 隆宏	GR YARIS Rally2	MXPA12	Rally2	3:27.6	10:05.5	5:01.8	3:28.1	10:01.2	5:01.4		37:05.6	11:14.9	0:33.2	10:31.8	11:04.5	0:32.5	10:17.7		44:14.6	1:21:20.2	1	1
JN-1	6	Heikki Kovalainen	北川 紗衣	AICELLO速心DLヤリスRally2	MXPA12	Rally2	3:27.1	10:08.9	5:02.0	3:25.0	10:00.3	4:59.5		37:02.8	11:31.7	0:33.6	11:20.4	10:54.9	0:32.1	10:07.7		45:00.4	1:22:03.2	2	2
JN-1	7	鎌田 卓麻	松本 優一	Castrol TEIN DL SKODA	ABCUFX11	Rally2	3:33.6	10:22.6	5:10.2	3:33.1	10:13.7	5:07.1		38:00.3	11:41.4	0:34.3	10:52.4	11:09.6	0:33.7	10:31.3		45:22.7	1:23:23.0	3	3
JN-1	3	奴田原文雄	東 駿吾	ADVAN KTMS GRヤリスRally2	MXPA12	Rally2	3:33.1	10:23.8	5:11.6	3:32.1	10:13.3	5:08.5		38:02.4	11:44.5	0:33.8	10:48.9	11:18.5	0:32.9	10:28.5		45:27.1	1:23:29.5	4	4
JN-1	4	福永 修	齊田 美早子	スミロン☆焼肉ふじ☆CTE555ファビア	ABDKZX11	Rally2	3:34.3	10:28.6	5:08.2	3:30.8	10:19.2	5:07.0		38:08.1	11:46.1	0:34.2	11:21.2	11:19.3	0:32.6	10:38.6		46:12.0	1:24:20.1	5	5
JN-1	5	新井 敏弘	小坂 典嵩	SUBARU WRX VBH	VBH	JP4	3:39.6	10:44.5	5:20.4	3:40.2	10:40.2	5:22.9		39:27.8	12:20.4	0:35.7	11:08.4	11:41.0	0:33.9	10:42.0		47:01.4	1:26:29.2	6	6
JN-2	18	大倉 聡	豊田 耕司	AISIN GR Yaris DAT	GXPA16	RJ	3:43.4	10:56.9	5:25.3	3:41.3	10:50.8	5:26.0		40:03.7	12:17.0	0:37.9	11:23.8	11:43.3	0:35.8	10:49.3		47:27.1	1:27:30.8	1	7
JN-2	14	具原 聖也	西崎 佳代子	ADVICS多賀製作所K-oneGRヤリスDL	GXPA16	RJ	3:44.3	10:54.2	5:26.1	3:42.0	10:46.4	5:22.2		39:55.2	12:17.6	0:38.8	11:22.8	11:45.9	0:35.5	11:08.8		47:49.4	1:27:44.6	2	8
JN-2(MCC)	21	大竹 直生	橋本 美咲	GR YARIS GR4 Rally	GXPA16	RJ	3:41.1	10:50.5	5:33.0	3:43.0	10:53.3	5:24.5		40:05.4	12:31.4	0:35.9	11:24.3	11:58.1	0:35.8	11:17.0		48:22.5	1:28:27.9	3	9
JN-2	17	内藤 学	大高 徹也	YH TEIN Moty'sGRヤリス	GXPA16	RJ	3:47.1	11:17.0	5:46.4	3:46.5	11:06.0	5:35.3		41:18.3	12:16.5	0:36.3	11:27.1	11:49.1	0:35.2	11:09.3		47:53.5	1:29:11.8	4	10
JN-1	8	石黒 一暢	穴井 謙志郎	カヤバ GRヤリス	GXPA16	JP4	3:42.3	11:01.9	5:30.1	3:41.9	10:47.9	5:28.1		40:12.2	12:29.1	0:36.1	11:35.6	12:20.0	0:35.7	11:24.9		49:01.4	1:29:13.6	7	11
JN-2(MCC)	23	Jones Zeal	Thomson Bayden	CUSCO WM DL GR Yaris	GXPA16	RJ	3:58.0	11:02.4	5:31.6	3:49.1	10:59.4	5:22.0		40:42.5	12:22.6	0:36.9	11:54.6	11:53.5	0:35.7	11:11.0		48:34.3	1:29:16.8	5	12
JN-2(MCC)	22	福葉 磨人	竹下 紀子	MATEX-AQTEC DL KYB Yaris	GXPA16	RJ	3:48.3	11:07.1	5:30.3	3:44.3	10:59.3	5:30.7		40:40.0	12:48.0	0:35.9	11:31.5	11:57.5	0:35.0	11:10.3		48:38.2	1:29:18.2	6	13
JN-4	40	黒原 康仁	松葉 謙介	itzz YH TCSR AN スイフト	ZC33S	RJ	3:49.9	11:03.8	5:24.1	3:46.7	10:57.7	05:26.6		40:28.8	12:25.4	0:39.1	11:44.4	12:06.6	00:36.6	11:25.8		48:57.9	1:29:26.7	1	14
JN-3	32	山本 悠太	立久井 和子	SammyK-oneルプロスYHGR86	ZN8	RJ	3:44.8	11:02.1	5:29.0	3:45.0	11:03.6	5:28.4		40:32.9	12:48.6	0:40.5	11:47.0	12:01.0	0:36.3	11:11.3		49:04.7	1:29:37.6	1	15

4月11日(金)~13日(日)、佐賀県唐津市にて全日本ラリー選手権 第2戦『ツール・ド・九州2025 in 唐津』が開催された。今年も昨年同様、「ポートレースからつ」の駐車場が拠点となり、水上と陸上のモータースポーツが共演する会場となった。ターマック(舗装路)で構成されたスペシャルステージは昨年から大幅に刷新。昨年のようにくねくねとしたテクニカル区間に加え、低速・中速・高速区間がバランスよく混在するステージや、狭く滑りやすいステージなど、バリエーション豊かな構成となった。昨年の走行データに頼れないため、精度の高いペースノート作成力とステージ特性に応じた車両セッティング力が勝負の鍵となる。

LEG 1

SS1/4 「SAGISOU 1/2」 5.15 km

連続する中速コーナーと高い路面摩擦により、全体としてリズムよく走行しやすい構成のステージ。SS1ではスタート直後に後輪のトラクションが不足する駆動系の不具合が発生したものの、丁寧な操作を心掛けながら走行をまとめ、クラス8位/総合11位のタイムを記録した。SS2後の応急処置により不具合は解消。昼のサービスを挟んだ2ループ目のSS4では、タイム向上幅は僅かにとどまり、走行タイムはクラス8位/総合12位を記録した。

SS2/5 「AMANOGAWA 1/2」 14.45 km

高速・中速・低速の各区間が組み合わさったチャレンジングなステージ。SS2では想定以上にタイヤに熱が入り、空気圧が上昇したことで若干のグリップ低下が見られたものの、ペースノートのリーディング精度向上が奏功し、無駄の少ない走行が意識できたことで、クラス8位/総合14位のタイムを記録。SS5では、タイヤ空気圧が適正に決まり14秒のタイムアップを達成。特に高速区間では、従来見られていた不要な減速が激減し、ドライバーの成長が実感できる結果となった。

SS3/6 「SAYOLAKE 1/2」 5.56 km

低速主体の林道ステージで、中盤からは泥などの滑りやすい路面に加え、下りの傾斜が連続するテクニカルな構成。攻めどころはしっかりと攻め、リスクの大きい区間では安全マージンを取る走行に切り替えたが、やや抑えすぎた影響もありタイムは沈んでしまう。レグ1最終ステージとなったSS6では、ペースアップを試みたものの2秒のタイムアップにとどまり、レグ1をクラス8位/総合13位で折り返した。この日の夜、明け方まで降った雨が各チームを悩ますことになる。



LEG 2

SS7/10 「SAYOHIME 1/2」 12.30 km

SS3/6の一部を逆走で使用したステージ。前日夜の雨により路面はウェットとなったため、雨用タイヤを選択してスタート。コース脇には泥が堆積しており滑りやすい状況だったが、他クラスでリタイヤも出る中でも安定した走行を見せ、SS7はクラス7位/総合16位のタイムで走破。サービスを挟んだSS10では、朝からの晴天で路面が乾きつつあったものの、林道区間の泥は乾かないと判断し再び雨用タイヤを選択。しかしステージはほぼドライで、読みが外れタイムは沈んだ。

SS8/11 「TENZAN 1/2」 0.67 km

本戦唯一のギャラリーポイントが設けられた注目ステージ。距離は670mと短いですが、連続するテクニカルコーナーとフィニッシュまで続く下り勾配、滑りやすい路面が組み合わさり、短距離ながらも非常に高い集中力が求められる。SS8では路面の砂で姿勢が乱れ、サイドターンに失敗するもクラス8位/総合10位のタイムを叩き出した。SS11ではターンをしっかりまとめるもタイムは大きくは伸びず、クラス8位/総合14位のタイムを記録した。

SS9/12 「AMANOGAWA Reverse 1/2」 14.54 km

本大会最長のステージ。高速・中速・低速区間がバランスよく現れるSS2/5と同じ道を逆走する。後半の5kmは高速かつ下りセクションで、ブレーキとタイヤに厳しい。SS9では、前日の雨の影響で路面に滑りやすい箇所が点在する中、挙動を乱さないよう走行しクラス7位/総合13位。SS12では完全に路面が乾ききるも、順位を守る走行に切り替えクラス7位/総合23位でフィニッシュ。上位にリタイヤが多発する中、車両に損傷無く走り切り、クラス7位/総合11位でラリーを終えた。



KAYABA RALLY TEAM



DRIVER 石黒 一暢 - Ishiguro Motonobu -



前戦では完走を重視するあまりSSペースが上がらず、悔しさの残る内容となりました。本戦ではペースの改善に取り組み、事前テストではセッティングの見直しも行いました。高速区間は以前よりも良くなりましたが、低速区間はまだ無駄が残り、課題の残る結果となりました。しかし、雨上がりで難しい日曜朝のステージは、リタイヤ車両もいた中、走り切れたことは自信に繋がりました。次戦のラリー飛鳥は新規イベントでイコールコンディションとなります。引き続きより良い結果を求めて改善を続けて参ります。

Co-DRIVER 穴井 謙志郎 - Anai Kenshiro -



スペシャルステージの直前では、気温や天候、路面特性を踏まえ、タイヤにどのくらい熱が入るかを予測して空気圧調整を行います。SS2では想定以上に空気圧が高くなってしまい、クルマが曲がらず悔しい思いをしましたが、その経験を踏まえて以降のステージでは完璧に空気圧を合わせ込むことができました。コ・ドラとしてタイムを削るためにできることをこれまで以上に考えたラリーでしたが、路面と天候を読み切れず、まだまだ未熟さを思い知らされました。次戦に向け、この経験も糧にして成長していきます。

LEADER 松下 雄介 - Matsushita Yusuke -



今回は前戦のラリーから、クルーのみならずチーム全体としてレベルアップを目指したラリーでもありました。ラリー三河湾で出た新たな課題や失敗点をしっかりと分析、反省して本戦に臨み、チーム全体として成長を感じることが出来たラリーだったのではないかと感じています。まだまだ課題はあります。完璧は難しいですが、私たちのプロセスをしっかりと踏んで更なる成長を目指します。応援していただきましたスポンサー様、関係者様、そしてカヤバ社員の皆様に感謝申し上げます。



NEXT ➔

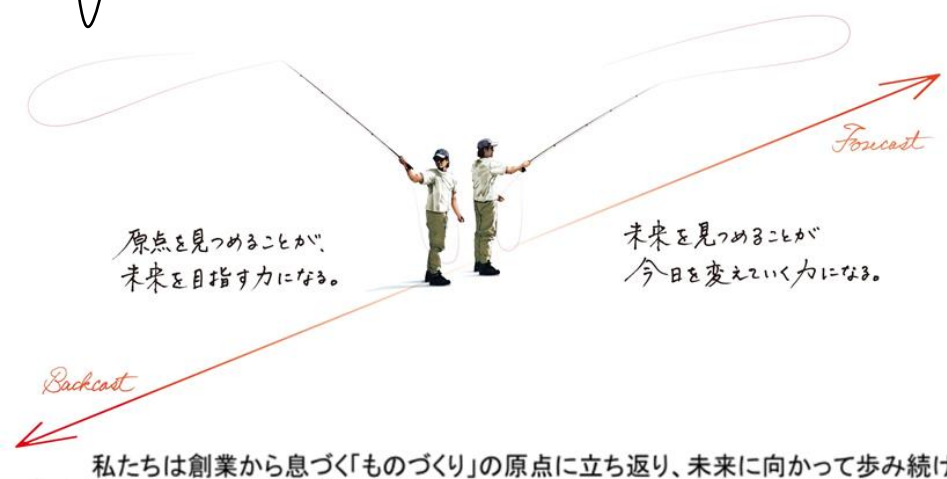
Rd.3
5/16~18 奈良県天理市
YUHO Rally 飛鳥



Special Thanks



※写真は他にもございます。必要でしたらお申し付けください。



@kybcorporation
カヤバ株式会社
公式Instagram



@KAYABA_KYB
カヤバ株式会社
公式X(旧Twitter)



@kyb_official
カヤバ株式会社
公式YouTube

Youtubeにて
動画公開中!



Our Precision, Your Advantage